

守門岳周回 山行報告

【日時】3月21日(土)

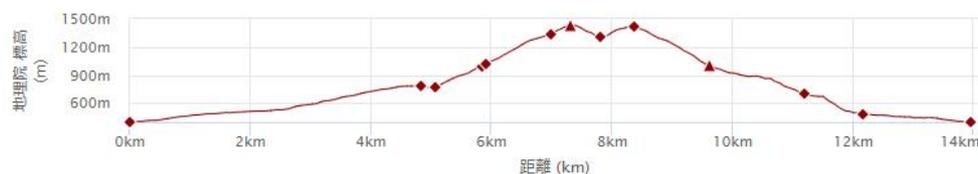
【天候】晴れ

【参加メンバー】小俣(CL)、尾崎(SL)、飯田、室(記録)

【行程】前夜泊 道の駅いりひろせ

6:20 除雪終了地点駐車場-9:30 保久礼小屋-10:40 大岳頂上-

11:50 尾根分岐-15:00 除雪終了地点駐車場



【報告】

この日は天候に恵まれて、春らしい暖かな日だった。例年より雪が少なめということだが、林道からそこそこ雪が積もっており、トレースがないと足への負担が大きい。長峰登山口に着くまでにすでに息が上がっていたので、体力不足がたたってすぐバテるのではないかという予感がしていた。保久礼小屋から続く急登で早くも予感が的中し、なかなか足が上がらない。SLの尾崎さんが先頭に立ってどんどん先を行くが、





残り 3 人は牛歩の歩みでトレースをなぞっていく。私の場合、ペース配分で意図的に歩みを遅くしているのではなく、精一杯に力を出しても一步一步噛み締めていくような歩きしかできなかった。ただの筋力不足。

森林限界を超えると、それまでのうららかな天候から一転して、横殴りの風が稜線上を吹きつけている。寒風吹きすさぶなか、大岳を目指して稜線上を一步一步登りつめていく。大岳は木が一本も生えていない広がったピークで、風を防いで身を休めることもままならない。ここで小休憩をしたあと、美しい雪稜の先に待つ守門岳へと向かう。大岳周辺は雪がクラスト気味のため、アイゼンを装着して雪稜を慎重に下りていく。

コルを登り返し始めたところで、いよいよ腿の筋力が持ちそうにないことを感じた。計画通りに周回コースを歩き通す自信がなかったので、パーティ内で相談して、途中の尾根分岐からエスケープすることにした。あとから振り返ってみると、エスケープルートは当初の計画だった守門岳周回コースと歩く距離がほとんど変わらない。ここであきらめずに、少しは覚悟を決めて守門岳を目指せばよかったのかもしれない。

エスケープルートに使った夏道は、歩くのに神経を使う痩せた尾根がところどころあり、細かく休憩を取りつつなんとか林道へたどり着く。尾崎さんはこの下山道でもまったくペースを落とさないまま、一足先に駐車場へ戻っており、体力の差を如実に感じさせられた。

2 年振りの雪山登山は、体力不足と未熟さを痛感させるものだったが、また挑戦したいと思えるような充実した山行だった。パーティメンバーの皆さんどうもありがとうございました。

